No.	項目	内容
(1)	名称	2-(3-フェニルプロピル)ピリジン
	一般的名称	2-(3-Phenylpropyl)pyridine
	化学名	2-(3-Phenylpropyl)pyridine
	CAS番号	2110-18-1
(2)	JECFA等の国際的評価機関の結果	FEXPANにより評価され1985年のGRAS 14 に公表された[1)]。 2004年、第63回JECFA会合にて、本物質はクラスⅢに分類され、安全性に懸念なしと判断された[2)]。
	JECFA番号	1321
(3)	外国の認可状況・使用状況	欧米をはじめ各国で認可され広く使用されている。
	FEMA GRAS番号	3751
	CoE番号	なし
	CFR21掲載	なし
	EUレジスター	FL No. 14.072
	使用量データ	4kg(米国、JECFA評価時報告の推定値)、15kg(EU、1995年)[2)]
(4)	我が国での添加物としての必要性	本物質はローストナッツ様の加熱香気を有する成分であり、種々の食品の風味向上に必要不可欠な物質である。本物質は現在日本では未認可であるが、その添加量は微量ながら効果は非常に大きく、様々な加工食品に対してすでに国際的には着香の目的で広く使用されている。したがって国際的整合性の面からみても、これらの物質を日本で使用できるようにすることが不可欠と考えられる。
	天然での存在	現在までのところ報告例はない[3)]。
	米国での食品への使用例 (平均添加率)	焼菓子　2ppm、スナック菓子　2ppm、グレービーソース類　2ppm、 朝食シリアル類　2ppm、香辛料　2ppm、 調味ソース・スプレッド・付合せ類　2ppm[1)]
(5)	参考資料	1) Food Technology. (1985) Vol.27, No.11, pp.108 2) WHO Food Additives Series: 54 http://www.inchem.org/documents/jecfa/jecmono/v54je01.pdf 3) VCF Volatile Compounds in Food : database / Nijssen, L.M.; Ingen-Visscher, C.A. van; Donders, J.J.H. [eds]. - Version 12.2 - The Netherlands : TNO Quality of Life (website accessed in July 2010) (未公表)